

|    | 実 態 と 課 題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 授 業 改 善 策                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"><li>・問題や文章を理解するための語彙が少ない。</li><li>・漢字学習では、意欲的に取り組みテストで高得点をとる児童も多くいるが、文章を書くときにこれまでに学習した漢字を使っておらず、漢字の定着が不十分である。</li><li>・物語では内容の読み取りはおおよそできるが、説明文の読み取りや要点や要約にまとめることが難しい。</li><li>・作文は、経験したことの中から書くことは見付けられるが、全体の構成を考えたり内容を膨らませたりすることは難しい。</li></ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・単元の始めに意味調べを行い、語彙の数を増やすとともに、その意味が理解できるようにする。</li><li>・学習した漢字や言葉を文章の中で活用できるよう、漢字等の家庭学習を繰り返す。国語辞典や漢字辞典を更に活用し、語彙力を高める。</li><li>・説明的文章では、大切なところや事柄の順序を考えながら内容を読み取らせ、まとめる練習をする。</li><li>・書き始める前に「始・中・終」の大まかな文章構成ができるような構成メモを用意し、書くことの見通しをもたせるようにする。</li></ul>           |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"><li>・社会科見学や体験学習を通して、社会科の学習に興味をもって取り組んでいる児童が多い。</li><li>・グラフや表等の資料の読み取り方に慣れていないため、とまどう児童が多い。</li><li>・新たに学ぶ社会事象等が多く、受け身の学習になりがちである。</li></ul>                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"><li>・体験学習を計画的に取り入れ、興味・関心を高める。</li><li>・資料読み取りの仕方を丁寧に指導し、練習問題等で、習熟を図る。</li><li>・まとめの学習として自分で課題設定した学習新聞や感想を書く活動を取り入れ、理解していることを確認する。</li></ul>                                                                                                                            |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"><li>・計算に関する既習事項の定着状況の差が大きく、わり算の学習や大きな数のかけ算の学習においては正しく計算できない児童が多い。</li><li>・数量関係を式に表したり、計算の法則を活用して計算したりすることに関して苦手な児童が多い。</li><li>・作図に意欲的に取り組んではいるが、コンパスや三角定規、分度器を正しく理解し使用できていない児童も多い。</li><li>・データの分類整理の学習では、表や折れ線グラフを正しく読み取ったり正しく作成したりできる児童が多い。</li><li>・数学的な見方を働かせることはできる児童が多いが、数学的な考え方を働かせることが難しい児童が多い。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・授業では学習の到達度を個別に確認しながら学習を進める。またプリントやすららドリル等で、繰り返し練習する。</li><li>・既習の基礎的な学習は、朝学習などで復習し習熟を図る。</li><li>・作図の技能向上のため、模様作りなどを行う。</li><li>・問題から適切に意味の読み取り、筋道を立てて考える活動を増やすことで、思考方法を身に付けさせていく。</li></ul>                                                                      |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"><li>・既習事項や新たな知識の定着が不十分な児童が多い。</li><li>・理科の問題解決の流れの定着が不十分であり、自分の考えを適切に表現できる児童は少ない。</li><li>・観察・実験の結果と考察、結論の区別ができず、予想・仮説に正対した考察や、問題に正対した結論を考えることが難しい児童が多い。</li><li>・意欲的に観察・実験に取り組んでいるが、観察・実験以外の場面への意欲が高いとは言えない。</li></ul>                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>・単元の導入では既習事項を一つずつ確認し、学習を通して得られた知識と身近な科学的事象を結び付けさせたり、視聴覚教材などを取り入れたりして、知識の定着を図る。</li><li>・各場面において何を記述するのかをこまめに指導し、各場面の書き方の話形を提示する。</li><li>・問題解決の流れ全体が科学であると指導をし、予想・仮説を確かめられた満足感や結論を導出できた達成感を感じることができるようにする。</li></ul>                                               |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"><li>・歌うことを楽しんで意欲的に歌っている。響きのある美しい声で歌おうとする児童が増えてきている。</li><li>・リコーダーや鍵盤ハーモニカの技術面で、個人差が大きくなってきている。</li><li>・音楽を聴いて、豊かに情景を想像することはできるが、それを音楽の要素と結び付けて捉えるまでには至らない。</li></ul>                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"><li>・歌声を遠くに響かせる方法を具体的に示し、歌唱技能を高める。</li><li>・簡単な旋律で、息の使い方・タンギング・運指などの基本を意識させ、きれいな音で演奏できる体験を積ませる。</li><li>・児童の発言を整理して板書するなどして、感じ取ったことと音楽との関係を全体で共有できる場をつくる。</li><li>・協働的な学習や個別最適な学習を行えるよう、学習の形態を工夫する。</li></ul>                                                          |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"><li>・意欲的に新しいことに取り組もうとする児童が多い。</li><li>・一斉指導で見通しをもって、自分で進める児童と、前学年までの技能が身に付いておらず、思うようにいかずに、諦めがちな児童もいる。</li><li>・気持ちの切り替えができずに、友達とのトラブルをずっと引きずる児童も少なくない。</li><li>・危険を伴う新しい用具について、扱い方やルールを守り、その理由も併せて理解させ、安全に対する意識をもたせる。</li></ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・黒板を見れば、どのような活動をするのか見通しがもてるような掲示物を作成し、板書計画をする。</li><li>・技能面で難しさを感じている児童には、一緒にやりながら、具体的にコツなどを見せ、身に付けさせて、できた気持ちをもてるよう励ます。</li><li>・友達との対話や見せ合うことを通して、自分の見方や感じ方が広がるように、鑑賞の時間を生かす。</li><li>・一人ひとりの製作のよさを見取り、具体的に褒めたり、全体の前で紹介したりする機会をもち、個々の自己肯定感ややる気が育つようにする。</li></ul> |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"><li>・体を動かすことが好きな児童が多く、どの運動にも意欲的に取り組んでいる。</li><li>・「楽しく運動する」ために、規則を工夫したり考えたことを伝えたりすることに課題がある。児童による差が大きい。</li><li>・体力テストの結果から、50m 走や反復横跳びなどの瞬発力や敏捷性を伴う運動の記録が全国平均より低い。</li><li>・ボール投げや握力などの筋力を伴う運動の記録も全国平均</li></ul>                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・規則の工夫は慣れるまでこちらで提示した物の中から選べるようにする。また、タブレットを活用することで自分の考えを交流しやすくする。</li><li>・腕の振り方やスタートの仕方について指導したり、走る機会を増やしたりしていく。筋力をつける運動を意識的に取り入れるようにする。</li></ul>                                                                                                                |

|  |       |  |
|--|-------|--|
|  | より低い。 |  |
|--|-------|--|